

資料 4 - 2

府中市基地跡地留保地利用計画検討協議会等のスケジュール

年度	検討等を 予定する項目	協 議 会	PT	備考
H29	事前準備			市民 WS 3/17・18
	事前準備	—	第 1 回	
	検討体制・スケジュール	第 1 回	第 2 回	
	現状の把握			
	優位性と課題の把握	第 2 回	第 3 回	
	土地利用の方針・方向性			
	土地利用目標の設定方針の確認	第 3 回	第 4 回	
H30	土地利用の方針・方向性			* 第 5 回 P T は平成 29 年度
	公共主体の機能及び民間主体の 機能に関する整理 等	第 4・5 回	第 5・6・7 回	
	ゾーニングの方向性			
	ゾーニングの条件や方針の検討 等	第 5・6 回	第 7・8 回	
	整備方針			
	整備の方針や進め方 等	第 7・8 回	第 9・10 回	
	整備推進方策			
	土地利用ルール、整備後のマネジ メント体制、全体スケジュール 等	第 9 回	第 11 回	
	答申（案）のとりまとめ			
	答申（案）のとりまとめ	第 9 回	第 11 回	
市長へ答申				

※その他、同時期に策定を進める、立地適正化計画等との調整を随時行います。
 ※「利用計画の記載」については、○は検討及び記載、×は検討のみを想定します。

資料 4 - 2

平成 29 年度		平成29年						平成30年			
作業項目		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討体制											
府中基地跡地留保地活用検討プロジェクトチーム	●				●		●	●			●
府中市基地跡地留保地利用計画検討協議会					●		●		●		
議会（基地等跡地対策特別委員会）※ 報告のみ。時期は想定				●						●	
市民への周知・意見把握											
市民ワークショップ											●
ニュース配信										↔	

現状の把握

- 優位性・課題の把握

土地利用に係る検討を行うにあたり、府中市及び留保地が抱える優位性・課題など、検討にあたり把握及び考慮が必要な事項について改めて整理し把握する。

PT	第 3 回
協議会	第 2 回

土地利用の方針・方向性

- 土地利用目標の設定方針の確認

周辺地域の課題と民間の確認を行い、類似事例を基に素案に記載されている「想定し得る機能」の再整理・イメージの共有を行い、土地利用目標を決めるにあたっての類型の設定を確認する。

内部検討：
・民間ヒアリング再実施と「想定し得る機能」への反映

PT	第 4 回
協議会	第 3 回

- ニュース作成

検討状況や内容を市民に周知することを目的とし、ニュースを作成する。(1回：H30. 2)

時期	テーマ	内容(案)
2月	検討協議会開催WSのお知らせ	開催報告、今後のスケジュール

- 市民説明会・ワークショップ(案)

留保地利用の経緯や、第1回協議会の「府中市の課題」を示しつつ、市民が期待する土地利用の方向性や機能等について、ワークショップ手法を用い収集・確認を行う。

時期	テーマ
3月	府中市の現状と課題、留保地に求める機能

第 4 回協議会にて報告

平成 30 年度		平成30年									平成31年		
作業項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討体制													
府中基地跡地留保地活用検討プロジェクトチーム	○		↔		↔		↔		↔		↔		
府中市基地跡地留保地利用計画検討協議会	●		↔		↔		↔		↔		↔		
議会（基地等跡地対策特別委員会）				●			●			●			●
市民への周知・意見把握													
市民への周知・意見把握		←—————→											

平成 30 年度

土地利用の方針・方向性

PT	第 5・6 回
検協	第 4・5 回

- 公共機能の考え方の整理 (PT 検討内容)

第 3 回検討協議会での指摘事項を踏まえ庁内における公共機能の考え方を整理し、留保地への公共機能の候補として協議会に提示する。
- 民間機能の考え方の整理 (PT 検討内容)

上位計画等や企業からの要望状況、市民ニーズ、跡地活用事例の類型から庁内における留保地への民間機能の考え方を整理し、協議会に提示する。
- 留保地の役割及び位置づけ

PT にて整理した公共機能、民間機能の考えから、留保地の役割及び位置づけを設定し、市の土地利用方針・方向性を示す。

ゾーニングの方向性

PT	第 7・8 回
検協	第 5・6 回

- 土地利用の具体化

具体的な導入機能を決定し、留保地内の各ゾーンの区分や構成を検討する。
- ゾーニング条件 (配置施設規模、配置条件)

具体化された土地利用 (上記で検討した各ゾーン) について、導入する機能の施設規模や配置条件を整理し、「ゾーニング条件」としてまとめる。
- ゾーニングシミュレーション

ゾーニング条件に基づく複数のシミュレーションを行い、各パターンにおけるメリットや課題を整理の上、ゾーニング方針を設定するための材料としてまとめる。
- ゾーニング方針の検討

シミュレーションの結果を踏まえ最適なゾーニング (案) を選定し、ゾーニング方針として取りまとめる。

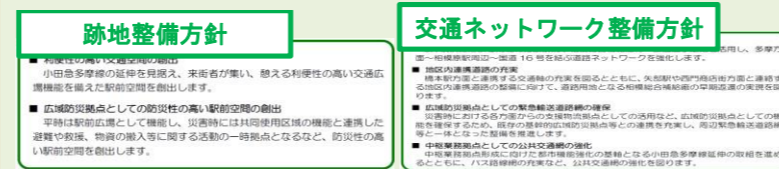


整備方針

PT	第 9・10 回
検協	第 7・8 回

- 整備の考え方・整備方針

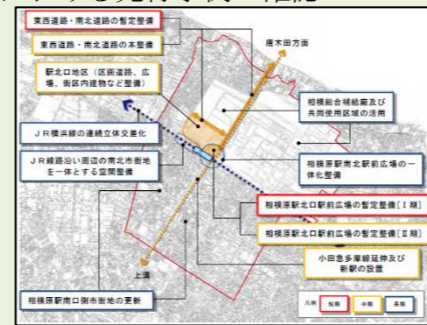
交通ネットワーク整備方針や公園・緑地の整備方針、上下水道や土壌汚染対策に関わる整備方針・生物保全の方針・考え方を整理する。



- 事業実現に向けた整備の進め方の検討

機能ごとに想定される整備手法を整理し、今後の整備の進め方を検討する。

内部検討：
・整備手法等における先行事例の確認



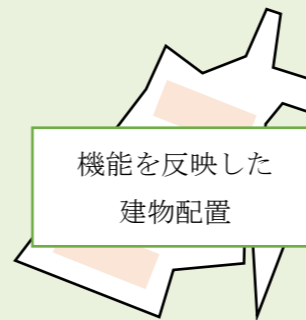
整備の進め方 (イメージ図)

- 建物配置検討・事業主体整理

ゾーニングに基づく建物配置のイメージや事業主体の整理を行う。

機能 (例)	建物・施設例
公園	公園、緑地、広場
商業施設	様々な国や地域の食文化が楽しめる飲食街、ショッピングモール等

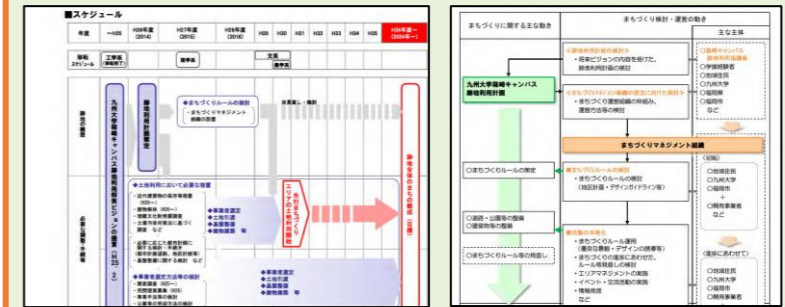
建物配置・事業主体整理 (イメージ図)



整備推進方策

PT	第 11 回
検協	第 9 回

- 整備後の跡地利用マネジメント体制の検討
- 全体スケジュールの作成



全体スケジュールの作成 (イメージ図) 整備後の跡地利用マネジメント体制の検討 (イメージ図)

- 土地利用ルールの検討

建築物等の用途や施設面積、壁面位置、色彩その他の意匠等、制限を設ける項目について整理を行う。

※PT・協議会ではイメージのみ提示することも想定。
内部検討：
・地区計画案として検討内容を整理 (次年度地区計画策定に向けた準備)



制限を設ける項目について整理 (イメージ図)



跡地利用ルールに基づく空間配置 (イメージ図)

とりまとめ

答申内容の方向性を決定する。

利用計画答申

- 利用計画の答申

(検討協議会と別途実施)